

防爆 PTZ カメラ
クイックスタートガイド

本マニュアルについて

本マニュアルは、防爆 PTZ カメラに適用されます。

本マニュアルには、製品の使用および管理の手順が記載されています。これ以降の写真、グラフ、画像、その他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートまたはその他の理由により、予告なく変更されることがあります。本ユーザーマニュアルは、専門家の指導の下で使用してください。

規制情報

FCC 情報

法規制遵守の責任者が明示的に承認していない変更や改造を加えた場合は、本装置を使用する権利を剥奪されることがありますのでご注意ください。

FCC 遵守：本装置は、FCC 規格 Part 15 に基づくクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることが試験で確認されています。これらの制限は、装置が商業環境で操作された場合に、有害な干渉から適切に保護されるように設計されています。住宅街で本装置を操作すると、有害な電波干渉が発生する可能性があります。この場合、ユーザーは自費にて電波干渉を修正する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは FCC 規格 Part 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件の対象となります。

1. このデバイスは有害な電波干渉を引き起こさないこと。
2. 本機器は誤動作の原因となる電波干渉を含め、受信されたすべての電波干渉に対して正常に動作すること。

EU 適合宣言



本製品および付属アクセサリ（該当する場合）は、「CE」とマークされているため、EMC 指令 2014/30/EU、RoHS 指令 2011/65/EU、および ATEX 指令 2014/34/EU に記載されている該当する欧州整合規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令)：この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) では未分別の自治体廃棄物として処分できません。適切にリサイクルを行うため、同等の新品装置を購入した場合には、本製品を現地のサプライヤーに返却するか、指定された回収場所で廃棄してください。詳細については、www.recyclethis.info を参照してください。



2006/66/EC (バッテリー指令)：本製品には、欧州連合域内で未分別の自治体廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。具体的なバッテリー情報については、製品のマニュアルを参照してください。バッテリーにはこの記号が付いています。この記号には、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg) を示す文字が含まれている場合があります。適切にリサイクルを行うために、バッテリーをサプライヤーまたは指定の回収場所に返却してください。詳細については、以下を参照してください。www.recyclethis.info。

インダストリーカナダ ICES-003 準拠

このデバイスは、CAN ICES-3 (A) /NMB-3 (A) 規格の要件を満たしています。

PTZ カメラの使用目的

Ex II 2 G Ex d IIC T6 Gb、Ta -40°C ~ +60°C

II 2 D Ex tb IIIC T80° C Db

危険区域分類：ゾーン1、ゾーン2、ゾーン21、ゾーン22

IP等級：IP68 (2m、2h)

Ex標準：

IEC 60079-0: 2011	EN 60079-0 : 2012/A11 : 2013
IEC 60079-1 : 2014	EN 60079-1 : 2014
IEC 60079-31 : 2013	EN 60079-31 : 2014

安全に使用するための特別な条件

1. 周囲温度：-40° C～+60° C
2. 通電しているときは開けないでください
3. 静電帯電の危険の可能性 - 手順を参照してください
4. 操作者は、組み立て、操作、および保守の際に、次の要求事項に従う必要があります。IEC 60079-14：爆発性のある大気 of 最新バージョン - パート 14：電気設備の設計、選択、および設置（製造業者の操作説明書の他）または同等の国内規格。
5. 修理およびオーバーホールは、IEC 60079-19：最新バージョンまたは同等の国内規格に従う必要があります。

防爆 PTZ カメラ銘板

Explosion-Proof PTZ Camera	
Product Model: HEIPTZ-2736-WI	
Protection Level: IP68	Temperature: -40°C~+60°C
Working Voltage: AC100~240V	Working Current: ≤1000mA
Product No.: XXXXXXXXX	Date of Production: 09/2018
TÜV 18 ATEX 8308	IECEX TUR 18.0065
 II 2 G Ex db II C T6 Gb	Ex db II C T6 Gb
 II 2 D Ex tb IIIC T80°C Db IP68	Ex tb IIIC T80°C Db IP68
 0470	
WARNING: DO NOT OPEN WHEN ENERGIZED	
CAUTION : USE FASTENERS WITH YIELD	
STRENGTH ≥450MPa	
Honeywell Security (China) Co., Ltd.	
Block 21, 22, 28, Section 2,	
Huaide Cuigang Industrial Estate Fu Yong, Bao An,	
Shenzhen, CN-518103 P.R. CHINA	

安全の手引き

これらの手順は、危険や財産の損失を回避できるようにユーザーが製品を正しく使用することを目的としています。

予防措置は、**警告**と**注意**に分かれています。

警告：警告を無視すると、重傷や死亡につながるおそれがあります。

注意：注意を無視すると、怪我や機器の損傷につながるおそれがあります。

	
警告 は、重傷や死亡を防止するために、指定の安全措置に従います。	注意 は、怪我や材料の損傷を防ぐために、指定の注意事項に従います。



警告

- アース：内部アースと外部アースの両方を確実に接続する必要があります。アース線の断面積が、位相コネクタの断面積レベル（4 mm²）を下回っていないこと。
- すべての電子操作は、地域の電気安全規制、防火規制、およびその他の関連する規制に厳密に準拠している必要があります。
- 通常会社から提供されている電源アダプタを使用します。電源アダプタの規格については、製品の仕様を参照してください。消費電力を必要な値より小さくすることはできません。
- アダプタの過負荷は過熱や火災の原因となるため、複数のデバイスを1つの電源アダプタに接続しないでください。
- PTZ カメラを配線または設置する前に、電源が切断されていることを確認してください。
- 製品を壁または天井に取り付ける場合は、デバイスをしっかりと固定してください。
- デバイスから煙、異臭、異音が発生した場合は、電源をオフにして電源ケーブルを抜き、サービスセンターに連絡してください。
- 製品が正常に動作しない場合は、取扱店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。PTZ カメラをご自身で分解しないでください（当社は、無断で修理または保守を行ったことによって発生した問題について一切責任を負いません。）



注意

- PTZ カメラがネットワークのローカル時刻と同期しない場合、PTZ カメラの時刻を手動で設定する必要があります。PTZ カメラ（Web ブラウザまたはクライアントソフトウェア経由）にアクセスし、時刻設定用のシステム設定インターフェースに入ります。

- PTZ カメラを落としたり、物理的な衝撃を与えたりしないでください。また、強い電磁波の放射にさらさないでください。振動面や衝撃を受ける場所に機器を設置しないでください（設置すると機器が損傷する恐れがあります）。
- PTZ カメラは、高温または低温の場所、ほこりや湿気が多い場所に設置しないでください。そのような場所に設置すると、火災や感電の恐れがあります。動作温度については、製品の仕様を参照してください。
- デバイスを直射日光、換気の悪い場所、ヒーターやラジエータなどの熱源に直接さらさないでください（そうしないと火災が生じる恐れがあります）。
- PTZ カメラカバーを開くときは、付属の手袋を使用してください。指の酸性の汗によってカバーの表面コーティングが腐食する可能性があるため、PTZ カメラカバーに直接触れないでください。
- PTZ カメラカバーの内側と外側の表面をクリーニングするときは、柔らかい乾いた布を使用してください。アルカリ洗剤は使用しないでください。
- 開梱後は、後で使用できるようにすべての包装を保管しておいてください。障害が発生した場合は、元の包装を使用して PTZ カメラを工場に返却する必要があります。元の包装を使用せずに輸送すると、PTZ カメラが損傷し、追加の費用が発生する可能性があります。

目次

1 概要	1
1.1 はじめに	1
1.1.1 電源	1
1.1.2 防爆パラメータ	1
1.1.3 外観仕様	1
1.1.4 作業環境	1
1.2 モデル名の説明	1
1.3 ケーブルの説明	2
2 PTZ カメラの設置	3
3 LAN 経由の PTZ カメラの設定	5
3.1 配線	5
3.2 PTZ カメラの有効化	5
3.2.1 Web ブラウザによる起動	6
3.2.2 SADP ソフトウェアによる起動	6
3.3 IP アドレスの変更	7
4 Web ブラウザによるアクセス	9

1 概要

1.1 はじめに

防爆 PTZ カメラは、防爆効果を完全に考慮して設計されています。爆発性ガスの混合物が PTZ カメラの内部に入った場合は、外装の強度、コンポーネントの接合ギャップの表面の幅と長さ、表面の最高温度の制限など、いくつかの対策によって防爆効果が保証されます。

防爆 PTZ カメラは、ビデオ/音声の収集、スマートエンコード、ネットワーク送信が可能な監視製品です。組み込みシステムと高性能ハードウェア処理プラットフォームを採用して、安定性と信頼性を高めています。Web ブラウザーとクライアントソフトウェアを使用して PTZ カメラにアクセスして設定できます。

防爆 PTZ カメラは、ステンレス鋼製外装を採用し、IP68 保護等級に適合しています。ウィンドウには強化ガラスが採用されており、衝撃や熱に耐えることができます。

1.1.1 電源

電源電圧の詳細については、**防爆 PTZ カメラ銘板**を参照してください。

1.1.2 防爆パラメータ

防爆パラメータの詳細については、**防爆 PTZ カメラ銘板**を参照してください。

1.1.3 外観仕様

材料：316L ステンレス鋼

1.1.4 作業環境

- 高度（海拔）：2000m 以内。
- 湿度：95%以内。
- 温度：**防爆 PTZ カメラ銘板**を参照してください。

注記：

ユーザーの安全とデバイスの防爆性能を確保するには、設置環境が購入した PTZ カメラの設置要件を満たしている必要があります。

1.2 モデル名の説明

製品の名前は、図 1-1 に示すルールを使用しています。

H E I PTZ -X X XX -XX

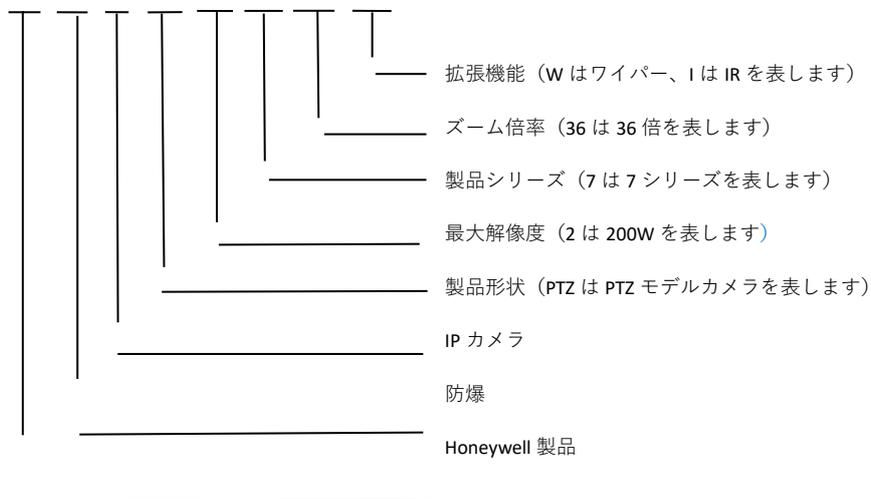


図 1-1

例：HEIPTZ-2736-WI

1.3 ケーブルの説明

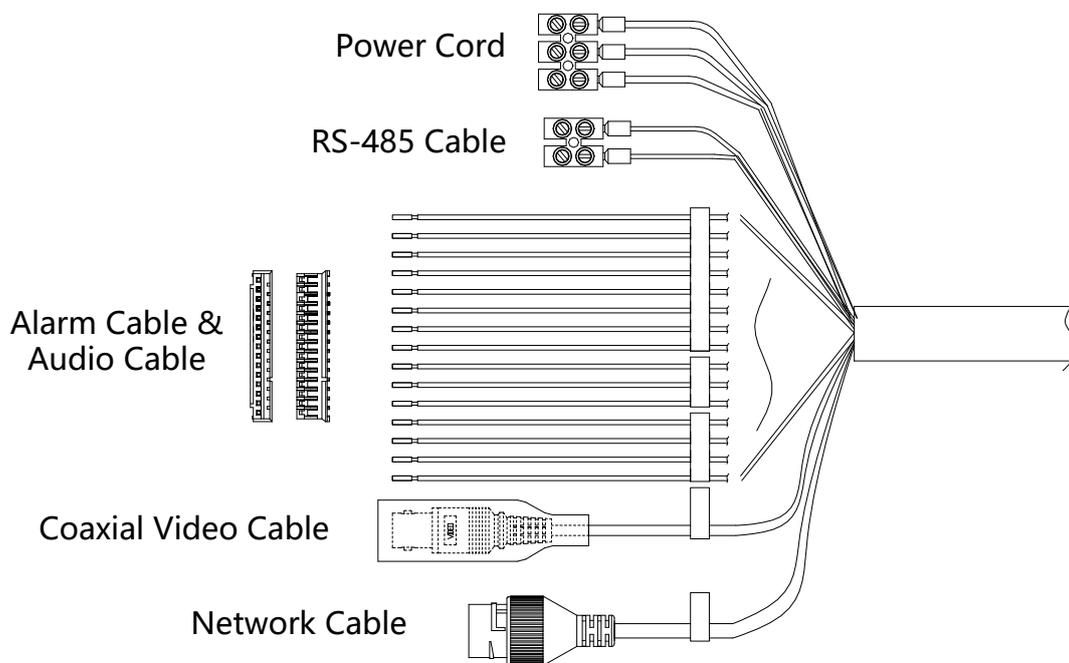


Figure 1-1 ケーブルの説明

注記：

ケーブルは、PTZ カメラのモデルによって異なります。

2 PTZ カメラの設置

開始する前に：

パッケージの内容を確認し、パッケージ内のデバイスが正常な状態であり、すべての組み立て部品が含まれていることを確認します。

注記：

- 設置が完了するまで PTZ カメラの電源を入れないでください。作業者とデバイスの安全を確保するために、電源をオフにした状態ですべての設置手順を実行する必要があります。
- デバイスとアクセサリを取り付けるための十分なスペースがあることを確認してください。
- デバイスとアクセサリの少なくとも 8 倍の重量に耐えるだけの強度が壁にあることを確認してください。
- PTZ カメラは、Figure 2-1 に示すように持ちます。

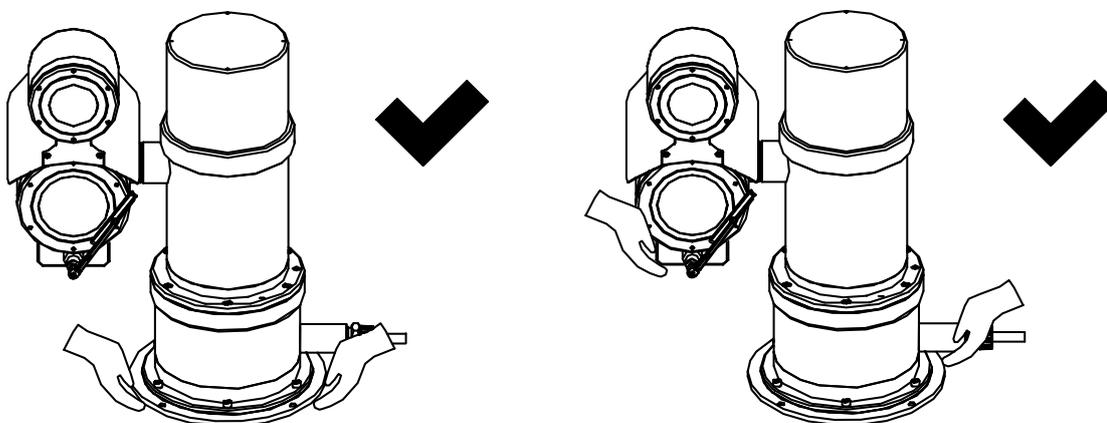


Figure 2-1 PTZ カメラの持ち方

ステップ：

1. ウォールマウントブラケットを取り付けます。

- 1) Figure 2-2 に示すように、PTZ カメラを取り付ける位置に、ブラケットの穴に合わせて $\varnothing 16$ のネジ穴を 4 つ開けます。

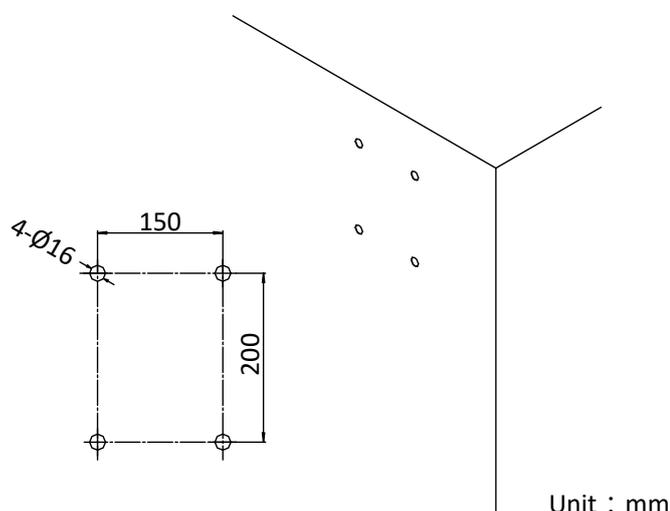


Figure 2-2 ネジ穴を開ける

- 2) 4本の M12 拡張ネジをブラケットの穴を通して取り付け穴に挿入します。
- 3) Figure 2-3 に示すように、4つのフラットガスケット、スプリングワッシャ、およびナットでブラケットを固定します。

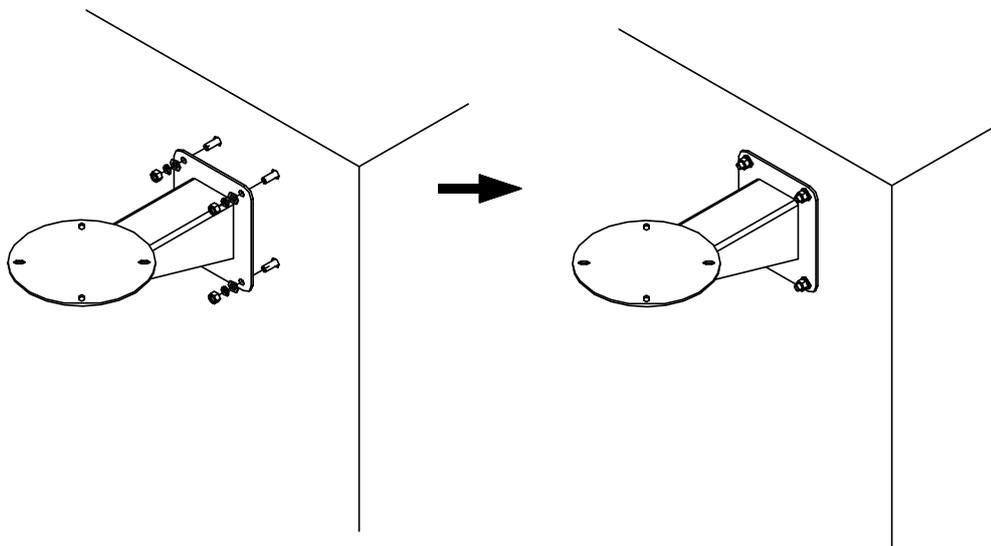


Figure 2-3 ブラケットを固定する

2. PTZ カメラをブラケットに固定します。

- 1) PTZ カメラをウォールマウントブラケットのプレートに設置します。
- 2) PTZ カメラの4つのネジ穴をブラケットの4つのネジ穴に合わせ、4本の M8×30 ネジで PTZ カメラを固定します。

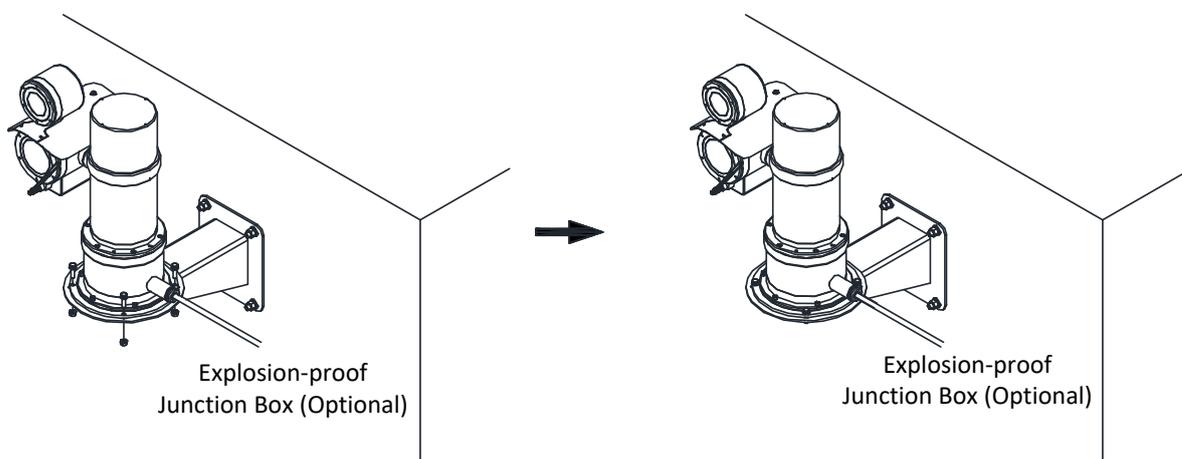


Figure 2-4 PTZ カメラを固定する

3 LAN 経由の PTZ カメラの設定

注記：

- 本製品をインターネットアクセスで使用する場合、ネットワークセキュリティのリスクが発生する可能性があることを認識しておく必要があります。ネットワーク攻撃や情報漏洩を回避するために、独自の保護を強化してください。製品が正常に動作しない場合は、取扱店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。
- PTZ カメラのネットワークセキュリティを確保するために、PTZ カメラを定期的に評価し、メンテナンスすることをお勧めします。このようなサービスが必要な場合は、当社までお問い合わせください。

3.1 配線

LAN（ローカルエリアネットワーク）経由でネットワーク PTZ カメラを表示および設定するには、PC と同じサブネット内に PTZ カメラを接続する必要があります。その後で、SADP またはクライアントソフトウェアをインストールして、ネットワーク PTZ カメラの IP アドレスを検索および変更します。

次の図に従って PTZ カメラをネットワークに接続します。

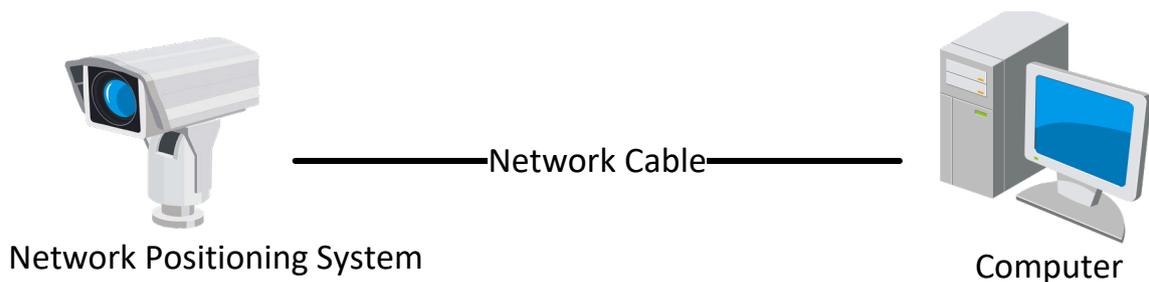


Figure 3-1 直接接続

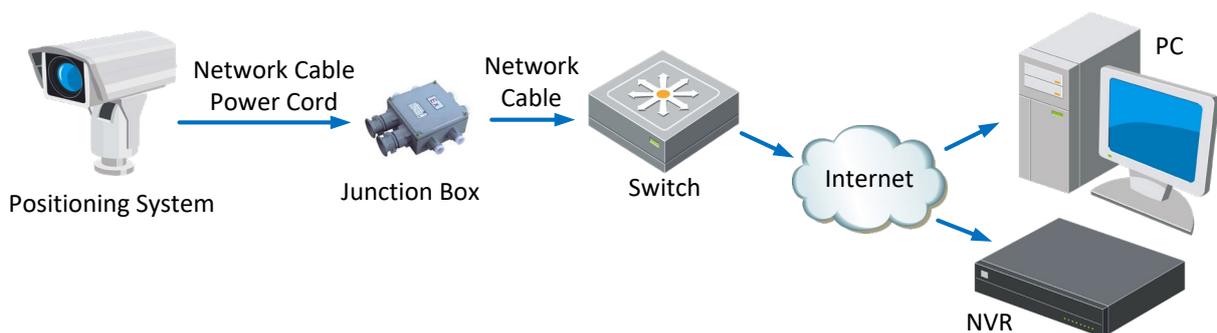


Figure 3-2 LAN 経由の配線

3.2 PTZ カメラの有効化

目的：

PTZ カメラを使用する前に、まず強力なパスワードを設定することで PTZ カメラを有効にする必要があります。Web ブラウザによる起動、SADP による起動、クライアントソフトウェアによる起動がサポートされています。カメラによる起動の例として、SADP ソフトウェアによる起動と、Web ブラウザによる起動を説明します。

3.2.1 Web ブラウザによる起動

ステップ:

1. PTZ カメラの電源をオンにします。PTZ カメラを、コンピューターに接続するか、コンピューターが接続されるスイッチ/ルーターに接続します。
2. Web ブラウザのアドレス バーに IP アドレスを入力し、起動インターフェースを表示します。

注記:

- PTZ カメラのデフォルトの IP アドレスは 192.168.1.64 です。
- コンピューターと PTZ カメラは同じサブネットに属している必要があります。
- PTZ カメラで DHCP をデフォルトで有効にするには、SADP ソフトウェアを使用して IP アドレスを検索する必要があります。

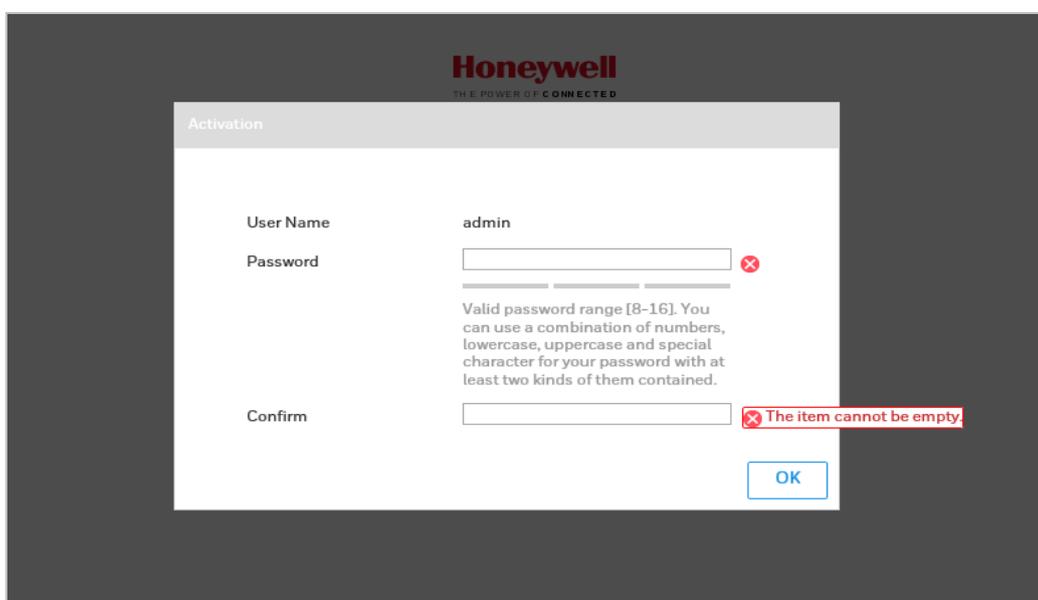


Figure 3-3 起動インターフェース (Web)

3. パスワードを作成し、パスワード フィールドにパスワードを入力します。



強力なパスワードを推奨

製品のセキュリティを強化するために、独自に選択した強力なパスワード (8 文字以上で大文字、小文字、数字、特殊文字のうち 3 種類以上を含む) を作成することを強くお勧めします。また、パスワードは定期的リセットすることをお勧めします。特に、高いセキュリティが必要なシステムでは、毎月または毎週パスワードをリセットすることで、製品の保護を強化できます。

4. パスワードを確定します。
5. OK をクリックして PTZ カメラを有効にし、ライブビューインターフェースに入ります。

3.2.2 SADP ソフトウェアによる起動

SADP ソフトウェアは、オンラインデバイスの検出、デバイスの有効化、およびパスワードのリセットに使用されます。

提供されたディスクまたは公式 Web サイトから SADP ソフトウェアを入手し、プロンプトに従って SADP をインストールします。

手順に従って PTZ カメラを有効にします。

ステップ:

1. SADP ソフトウェアを実行して、オンライン デバイスを検索します。
2. デバイスリストからデバイスステータスを確認し、有効になっていないデバイスを選択します。

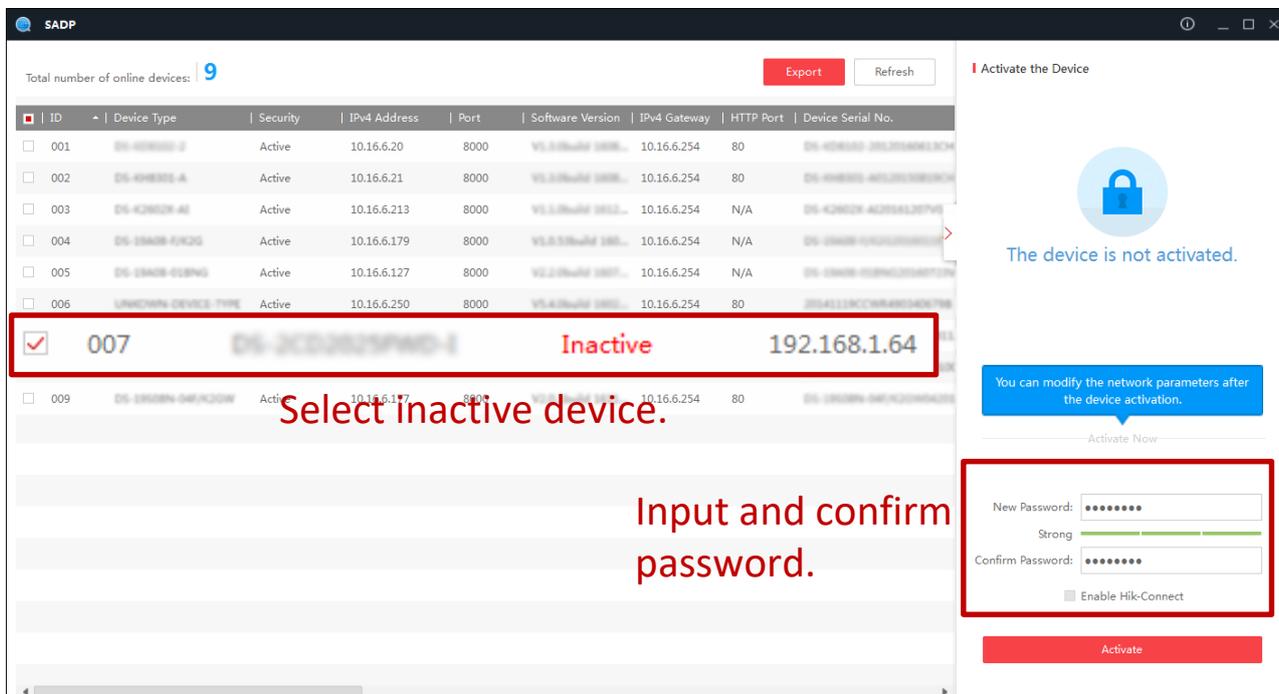


Figure 3-4 SADP インターフェース

注記:

SADP ソフトウェアは、PTZ カメラの一括有効化をサポートしています。詳細については、SADP ソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

3. パスワードを作成し、パスワードフィールドにパスワードを入力して、パスワードを確認します。

! **強力なパスワードを推奨**— 製品のセキュリティを強化するために、独自に選択した強力なパスワード（8 文字以上で大文字、小文字、数字、特殊文字のうち 3 種類以上を含む）を作成することを強くお勧めします。また、パスワードは定期的リセットすることをお勧めします。特に、高いセキュリティが必要なシステムでは、毎月または毎週パスワードをリセットすることで、製品の保護を強化できます。

4. Activate[起動]をクリックしてパスワードを保存します。

注記:

起動が完了したかどうかは、ポップアップ ウィンドウで確認できます。起動に失敗した場合は、パスワードが要件を満たしていることを確認してから、もう一度やり直してください。

3.3 IP アドレスの変更

目的:

LAN（ローカルエリアネットワーク）経由で PTZ カメラを表示および設定するには、ネットワーク PTZ カメラを PC と同じサブネット内で接続する必要があります。

SADP ソフトウェアまたはクライアント ソフトウェアを使用して、デバイスの IP アドレスを検索および変更します。IP アドレスの変更の例として、SADP ソフトウェアを使用した IP アドレスの変更を紹介します。

注記：

クライアントソフトウェアを使用した IP アドレスの変更については、クライアントソフトウェアのユーザーマニュアルを参照してください。

ステップ：

1. SADP ソフトウェアを実行します。
2. 起動しているデバイスを選択します。
3. IP アドレスを手動で変更するか、**Enable DHCP[DHCP 有効]**チェックボックスをオンにして、デバイスの IP アドレスをコンピューターと同じサブネットに変更します。
4. 管理者パスワードを入力し、**Modify[変更]**をクリックして、IP アドレスの変更を有効にします。IP アドレスの一括変更は SADP でサポートされています。詳細については、SADP のユーザーマニュアルを参照してください。

4 Web ブラウザによるアクセス

システム要件：

オペレーティングシステム：Microsoft Windows XP SP1 以降のバージョン/Vista/Win7/Server 2003/Server 2008 32 ビット

CPU：Intel Pentium IV 3.0 GHz 以上

RAM：1G 以上

ディスプレイ：1024×768 解像度以上

Web ブラウザ：Internet Explorer 8～11、Google Chrome 31～44、および Mozilla Firefox 30～51

ステップ：

1. Web ブラウザを開きます。
2. ブラウザのアドレスバーにネットワーク PTZ カメラの IP アドレスを入力し、ログインインターフェースに入ります。

注記：

デフォルトの IP アドレスは 192.168.1.64 です。IP アドレスをコンピュータと同じサブネットに変更することをお勧めします。

3. ユーザー名とパスワードを入力します。

管理者ユーザーは、デバイスアカウントとユーザー/操作者の権限を正しく設定する必要があります。不要なアカウントとユーザー/操作者権限を削除します。

注記：

管理者ユーザーがパスワード入力に 7 回（ユーザー/作業者の場合は 5 回）失敗すると、デバイスの IP アドレスがロックされます。

4. Login[ログイン]をクリックします。

English

Honeywell
THE POWER OF CONNECTED

User Name

Password

Login

[Forgot password?](#)

Figure 4-1 ログインインターフェース

5. ライブビデオを表示してネットワーク PTZ カメラを管理する前に、プラグインをインストールします。インストールプロンプトに従って、プラグインをインストールします。

注記：

プラグインのインストールを完了するには、Web ブラウザを閉じなければならない場合があります。



Figure 4-2 プラグインをダウンロードする

6. プラグインのインストール後に Web ブラウザを再度開き、上記の手順 2~4 を繰り返してログインします。

注記：

詳細な設定手順については、ネットワーク PTZ カメラのユーザーマニュアルを参照してください。